

《基礎科目》

科目名	心理学				
担当者氏名	城戸 由香里				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

授業のはじめに、前回学習した要点の小テストと答え合わせを行う。当該授業では、予習として学生が熟読してきた教科書の内容を配布プリントにて、要点、理解の確認を行う。さらに理解を深めるために、様々な例を用い、必要に応じて、生徒間のグループワークを行う。授業の最後に、授業開始時に行った小テストのプリントを提出する。

《授業の到達目標》

心理学における基本的な人間の欲求を列記できる。脳のしくみ及び認知、学習、記憶、思考、感情・情動が説明できる。ストレスなどに対する適応を例を挙げ、様々な適応方法を列挙できる。睡眠・休息のしくみを述べるができる。「死」についてのこころの理解ができる。総合的に、高齢者、障がい者への人権について述べるができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 80% レポート10 %
 課題 なし 実技 なし
 授業の取組 10%
 その他 なし

《教科書》

介護福祉士養成講座11

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

15回目の総括確認テスト前に、特に間違えやすいところについての授業内復習を行う。毎回の小テストの間違えを直し、教科書、配布プリントなどで復習を行う。

《成績評価基準》

毎回の小テストの結果及び、授業への積極的参加(発表など)を評価する。15回目の総括確認テストにて、各項目のキーワードやその意味の確認を行い(90点)総合的な理解は記述式の回答により評価する(10点)。

《参考図書》

配布プリント

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	健康とは	教科書p1～8を熟読(90分)・次回の小テストの準備(90分)
2	人間の欲求と自己実現	教科書p14～18を熟読(90分)・次回の小テストの準備(90分)
3	自己実現と尊厳	教科書p19～23を熟読(90分)・次回の小テストの準備(90分)
4	こころのしくみの基礎(脳)	教科書p24～27を熟読(90分)・次回の小テストの準備(90分)
5	こころのしくみの基礎(認知)	教科書p28を熟読(90分)・次回の小テストの準備(90分)
6	こころのしくみの基礎(学習)	教科書p28～29を熟読(90分)・次回の小テストの準備(90分)
7	こころのしくみの基礎(記憶)	教科書p29～30を熟読(90分)・次回の小テストの準備(90分)
8	こころのしくみの基礎(思考)	教科書p30～32を熟読(90分)・次回の小テストの準備(90分)
9	こころのしくみの基礎(感情・情動)	教科書p32～33を熟読(90分)・次回の小テストの準備(90分)
10	こころのしくみの基礎(意欲・動機づけ)	教科書p33～34を熟読(90分)・次回の小テストの準備(90分)
11	こころのしくみの基礎(適応)	教科書p35～37を熟読(90分)・次回の小テストの準備(90分)
12	休息と睡眠	教科書p240～249を熟読(90分)・次回の小テストの準備(90分)
13	心身の機能低下が休息・睡眠に及ぼす影響	教科書p250～257を熟読(90分)・次回の小テストの準備(90分)
14	「死」に対するこころの理解	教科書p275～281を熟読(90分)・次回の小テストの準備(90分)
15	総括・確認テスト	1～14回の総復習(90分)・総括、確認テストの復習(90分)

《基礎科目》

科目名	総合演習 A				
担当者氏名	古賀 啓之、中野 幹子、一山 幸子、川井 小百合、折居 明日香、田邊 伸一、山本 恭大				
授業方法	演習	単位・必修	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。 1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

体験学習等への参加により、実習施設への理解を深め、介護実践の科学的探究を目指した指導を行う。

《教科書》

必要に応じてプリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業での課題・提出物は確認後、必要に応じて個別に指導を行う。

《授業の到達目標》

新しい生活環境へ適応し、変化に対する円滑な対応と、豊かな人間性・高い倫理観を養うことができる。

実習を振り返り、介護の知識や技術を実践と結び付けて統合・深化させるとともに、自己の課題を明確にし専門職としての態度を身に付けることができる。

《成績評価基準》

授業授業内容に応じたレポートの記述・提出、授業中の取り組み姿勢

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 50%

課題 % 実技 %

授業の取組 50%

その他 () %

《参考図書》

なし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自己紹介・役員選出	予習内容 自分が担当したい役割について考える 30分 復習内容 科目の目的・内容についてまとめる 30分
2	1・2年生合同レクリエーション	予習内容 レクリエーションの内容について確認し、準備しておく 30分 復習内容 レクリエーションの感想をまとめる 30分
3	1・2年生合同レクリエーション	予習内容 レクリエーションの内容について確認し、準備しておく 30分 復習内容 レクリエーションの感想をまとめる 30分
4	担当教員面談	予習内容 自分の学習状況や進路について考え、まとめる 30分 復習内容 面談を振り返り、内容をまとめる 30分
5	担当教員面談	予習内容 自分の学習状況や進路について考え、まとめる 30分 復習内容 面談を振り返り、内容をまとめる 30分
6	メンタルヘルス講習	予習内容 メンタルヘルスとは何か調べる 30分 復習内容 講習の内容についてまとめる 30分
7	マナー講座	予習内容 実習に必要なマナーについて調べる 30分 復習内容 講座で学んだマナーについてまとめる 30分
8	施設見学(介護実践に必要な技術・知識の統合)	予習内容 見学する施設について調べる 30分 復習内容 見学で学んだことをまとめる 30分
9	施設見学(介護実践に必要な技術・知識の統合)	予習内容 見学する施設について調べる 30分 復習内容 見学で学んだことをまとめる 30分
10	お礼状作成	予習内容 実習の振り返り 30分 復習内容 授業内容の振り返り 30分
11	担当教員面談	予習内容 自分の学習状況や進路について考え、まとめる 30分 復習内容 面談を振り返り、内容をまとめる 30分
12	担当教員面談	予習内容 自分の学習状況や進路について考え、まとめる 30分 復習内容 面談を振り返り、内容をまとめる 30分
13	実習施設ガイダンス(介護実践の科学的探究)	予習内容 施設種別について復習する 30分 復習内容 施設ごとの取り組みや、特徴についてまとめる 30分
14	実習施設ガイダンス(介護実践の科学的探究)	予習内容 施設種別について復習する 30分 復習内容 施設ごとの取り組みや、特徴についてまとめる 30分
15	まとめ	予習内容 全体の授業における疑問や分からない点をまとめる 30分 復習内容 全体の授業についての振り返り 30分

《基礎科目》

科目名	英語				
担当者氏名	西村 紀子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》

基礎文法を学び、英文法の知識を再確認する。日常会話でよく使う「文型」を多く挙げ、英語の表現に親しんでいく。毎回語彙テストを行い、語彙や熟語を増やすことを心掛ける。

《教科書》

プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

期末試験のフィードバックは希望に応じて行います。

《授業の到達目標》

中学までに学んだ基礎的な文法や語彙を確認し、同時に日常会話に必要な表現も身につけ、総合的に学習を進める。英語力に必要な基本的文法構造を学び習得し、基礎的語学力を身につける。

《成績評価基準》

授業で学習した基礎的な文法を理解しているか。日常会話に必要な表現が身についているか。基本的文法構造を理解し、読む書く聞く話すの4技能につなげられているか。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート -%
 課題 -% 実技 -%
 授業の取組 35%
 その他(提出物) 35%

《参考図書》

「英会話の基本文型 87」

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	英文構造について	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
2	品詞について Be動詞	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
3	一般動詞	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
4	一般動詞とBe動詞の区別、応用練習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
5	時制(現在、過去、現在・過去進行形)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
6	時制(現在、過去、現在・過去進行形)演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
7	文の種類(肯定文、否定文、疑問文)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
8	文の種類(肯定文、否定文、疑問文)演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
9	疑問詞を使う疑問文	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
10	疑問詞を使う疑問文演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
11	接続詞を使った英作文	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
12	接続詞を使った会話文	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
13	頻度の高い動詞句(希望、予定、強制)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
14	練習、前期学習内容の総復習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
15	前期学習内容の理解確認	復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)

《基礎科目》

科目名	茶道文化				
担当者氏名	池末 愛香				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》

【介護福祉士選択】

実技を主とする

1. 立ち居振る舞いなど、日常生活での作法を身につける
2. 周囲への心配りができ、感謝する心を身につける
3. 盆略点前
4. 薄茶点前(風炉)

《教科書》

帛紗セット

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業終了後にレポートを作成し、次の授業までに提出する

《授業の到達目標》

和室での所作ができるようになる

茶室のしつらえ、道具のとりあわせ等から季節の移り変わりを
感じとることができる

思いやりを持って、互いに尊重しあうことができる

感謝を込めて、一服のお茶をいただくことができる

《成績評価基準》

授業への取り組み方

レポートの内容

所作・点前の習得度

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 30%

課題 % 実技 30%

授業の取組 40%

その他 () %

《参考図書》

『裏千家茶道』 監修・裏千家今日庵
制作・一般財団法人 今日庵

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 立ち居振る舞い	予習内容 シラパスを読む(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
2	お辞儀 襖の開け閉め	予習内容 所作を確認する(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
3	帛紗・扇子の扱い	予習内容 所作を確認する(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
4	茶室での所作	予習内容 所作を確認する(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
5	客の心得 席入り	予習内容 所作を確認する(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
6	客の心得 薄茶・菓子のいただき方	予習内容 所作を確認する(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
7	帛紗さばき 道具の清め方	予習内容 所作を確認する(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
8	帛紗さばき 茶筥通し、茶巾の扱い	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
9	盆略点前	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
10	盆略点前	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
11	盆略点前	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
12	柄杓の扱い	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
13	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
14	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
15	総括	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)

《専門科目》

科目名	社会福祉概論A				
担当者氏名	山本 恭大				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】
地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識、および社会保障の制度・施策についての基礎的な知識を身につけることを目的とする。

《授業の到達目標》

地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識、および社会保障の制度・施策についての基礎的な知識を身につけることを目的とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%
課題 10%
授業の取組 10%

《教科書》

『社会の理解』（中央法規）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業中に課したミニテストは、採点し原則、次の授業で返却する。
授業中に課したレポート課題は提出後、原則2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

筆記試験：授業の全範囲を対象とした筆記試験を行う。教科書の章ごとにミニテストで理解度を確認する。
レポート：各單元ごとに、理解度を確認するためのレポート課題を課す。
授業の取組：授業中の私語や居眠りに対しては減点する。
(レポートやミニテストはウェブを使用する場合があります。)

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	社会と生活のしくみ (オリエンテーション)	予習：教科書全体に目を通す(1時間) 復習：ノートの取り方等次週以降の準備(1時間)
2	社会と生活のしくみ ライフスタイルの変化	予習：ライフスタイルについて考える(2時間) 復習：ライフスタイルについてまとめる(2時間)
3	社会と生活のしくみ 家族の機能と役割	予習：家族について考える(2時間) 復習：家族についてまとめる(2時間)
4	社会と生活のしくみ 社会・組織の機能と役割	予習：組織について考える(2時間) 復習：組織についてまとめる(2時間)
5	社会と生活のしくみ 生活支援(ミニテスト)	予習：1章についてまとめる(2時間) 復習：ミニテストをまとめる(2時間)
6	地域共生社会の実現に向けた制度や施策	予習：地域福祉について考える(2時間) 復習：地域福祉についてまとめる(2時間)
7	地域共生	予習：地域共生について考える(2時間) 復習：地域共生についてまとめる(2時間)
8	地域包括ケア	予習：地域包括ケアについて考える(2時間) 復習：地域包括ケアについてまとめる(2時間)
9	社会保障とは何か	予習：身の回りの社会保障について考える(2時間) 復習：身の回りの社会保障についてまとめる(2時間)
10	日本の社会保障の歴史 (その1)	予習：社会保障の歴史について考える(2時間) 復習：社会保障の歴史についてまとめる(2時間)
11	日本の社会保障の歴史 (その2)	予習：社会保障の歴史について考える(2時間) 復習：社会保障の歴史についてまとめる(2時間)
12	社会保障制度のしくみ (その1)	予習：社会保障制度について考える(2時間) 復習：社会保障制度についてまとめる(2時間)
13	社会保障制度のしくみ (その2)	予習：社会保障制度について考える(2時間) 復習：社会保障制度についてまとめる(2時間)
14	現代の社会保障制度 (ミニテスト)	予習：現代の社会保障制度について考える(2時間) 復習：ミニテストについてまとめる(2時間)
15	まとめ	予習：これまでのミニテストのおさらい(2時間) 復習：これまでの授業をまとめる(2時間)

《専門科目》

科目名	認知症 A				
担当者氏名	折居 明日香				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

医学的側面から認知症の疾患や原因などの基礎的知識および、認知症の方の生活を支えるという観点から、認知症の症状に伴う心理的变化や影響について学ぶ。

この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。

。

《授業の到達目標》

医学的・心理的側面から認知症の原因となる疾患および症状に応じた心身の変化や心理的影響を理解し、生活支援を行うための根拠となる知識を理解することができる。

認知症の診断や治療、予防について認知症ケアの基礎として、医学的側面に沿った知識を理解することができる。

認知症ケアの歴史や理念を含む、認知症を取り巻く社会的環境について理解し、説明することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60%

レポート 10%

授業の取組 10%

その他（小テスト）20%

《教科書》

適宜プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・小テストを実施しフィードバックとして、解説の時間を設ける。
- ・授業中に課したレポートは、原則2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

定期試験および小テストで認知症に関する基礎知識について6割以上解答できる。

講義中の質問への解答、認知症に関する基礎知識についてレポートで考えをまとめ説明することができる。

《参考図書》

最新 介護福祉士養成講座13

「認知症の理解」 中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 認知症の定義	予習：シラバスを確認する。認知症の定義について調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
2	医学的・心理的側面の基礎的理解	予習：脳のしくみについて調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
3	医学的・心理的側面の基礎的理解	予習：中核症状について調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
4	医学的・心理的側面の基礎的理解	予習：BPSDについて調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
5	医学的・心理的側面の基礎的理解	予習：アルツハイマー型認知症について調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
6	医学的・心理的側面の基礎的理解	予習：血管性認知症について調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
7	医学的・心理的側面の基礎的理解	予習：レビー小体型認知症について調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
8	医学的・心理的側面の基礎的理解	予習：前頭側頭型認知症について調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
9	授業の振り返り (小テスト)	予習：前半の講義内容を振り返る。また、疑問・質問点を挙げておく(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
10	医学的・心理的側面の基礎的理解	予習：認知症の診断や治療薬について調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
11	医学的・心理的側面の基礎的理解	予習：認知症の予防について調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
12	認知症を取り巻く状況	予習：認知症のケアの歴史と理念について調べる。 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
13	認知症を取り巻く状況	予習：認知症ケアにおける社会の取り組みについて調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
14	授業の振り返り (小テスト)	予習：後半の講義内容を振り返る。また、疑問・質問点を挙げておく(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
15	本授業のまとめ	予習：授業で配布したプリントを読んで再確認する。(2時間) 復習：授業全体を振り返り、学んだ内容をまとめる。(2時間)

《専門科目》

科目名	人体構造と疾病 A				
担当者氏名	小車 淑子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】
 介護が必要な人の生活を支援するために必要となる
 人体のしくみや働きについて学ぶ。
 パワーポイントを使用して、講義を進める。
 科学的な根拠づけをもって、考えながら支援できるように、
 生活支援技術と結び付けて学んでいく。

《教科書》

最新介護福祉養成講座11 こころとからだのしくみ
 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規
 PPプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

単元ごとに復習小テストを実施し、解説する

《授業の到達目標》

「睡眠」「食事」に関連したこころとからだのしくみ、
 機能低下が生活に及ぼす影響、変化の気づきと対応につい
 て、理解し説明することができる。
 「死」に関する定義、こころとからだの変化、医療職との
 連携や死にゆく人の心理について、説明することができ
 る。

《成績評価基準》

筆記試験を実施し授業内容の理解度と、授業への取り組みを評
 価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%
 授業の取組 20%

《参考図書》

介護福祉士国家試験模擬問題集
 介護福祉士国家試験受験対策研究会編集 中央法規

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 休息・睡眠のしくみ	教科書 p 240～242 (2時間)・配布プリント(2時間)
2	睡眠に関連したこころと からだのしくみ	教科書 p 242～249 (2時間)・配布プリント(2時間)
3	心身の機能低下が睡眠に 及ぼす影響	教科書 p 250～257 (2時間)・配布プリント(2時間)
4	変化に気づくための ポイント	教科書 p 258～261 (2時間)・配布プリント(2時間)
5	小テスト (睡眠) 課題解説	教科書 p 240～257 (2時間)・配布プリント(2時間)
6	食事に関連したこころと からだのしくみ栄養	教科書 p 148～150 (2時間)・配布プリント(2時間)
7	摂食と嚥下運動	教科書 p 151～153 (2時間)・配布プリント(2時間)
8	治療食・心身の機能低下 が食事に及ぼす影響	教科書 p 153～162 (2時間)・配布プリント(2時間)
9	変化の気づきと対応	教科書 p 163～169 (2時間)・配布プリント(2時間)
10	小テスト (食事)	教科書 p 148～169 (2時間)・配布プリント(2時間)
11	死にゆく人に関連したし くみ	教科書 p 264～274 (2時間)・配布プリント(2時間)
12	死」に対する心の理解	教科書 p 275～282 (2時間)・配布プリント(2時間)
13	終末期から危篤状態 死後の体の理解・連携	教科書 p 282～299 (2時間)・配布プリント(2時間)
14	小テスト (終末期)	教科書 p 264～299 (2時間)・配布プリント(2時間)
15	まとめ	配布プリント・小テスト (2時間)

《専門科目》

科目名	人体構造と疾病 B				
担当者氏名	田中 優子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

介護を必要とするひとの生活支援を行うため、介護技術の根拠となる人体の構造や機能を理解することを目的とし、こころとからだの両方から利用者の状態がどのような要因から引き起こされるか根拠となる知識を理解していく。

《教科書》

最新・介護福祉士養成講座11 こころとからだのしくみ 中央法規

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出課題は2週間以内に確認後返却する。

《授業の到達目標》

- ・人の人体がどのように成り立っているか生きていくしくみの全体像を説明することができる。
- ・生命活動を支える様々な要素について学び、からだの防御修復や健康について説明することができる。
- ・脳や神経のしくみ、循環器や呼吸器など、基本的な解剖や生理を説明することができる。
- ・骨や関節などの働きやメカニクスを説明することができる。

《成績評価基準》

- ・人体の成り立ちや生きていくしくみについて説明することができるかどうか。
- ・からだの防御修復や健康について説明することができたか。
- ・基本的な解剖や生理を説明することができたか。
- ・骨や関節のメカニズムを説明することができたか。

《成績評価の方法》

筆記試験 80% レポート10 %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 10%
 その他 () %

《参考図書》

「見て覚える 介護福祉士国試ナビ」 中央法規

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 人体の全体豪像を知る	教科書の解剖図を見ておく(30分) 授業での内容と配布プリントをまとめる(30分)
2	からだの各部分の名称、 内臓の名称を知る	教科書の解剖図を見ておく(30分) 授業での内容と配布プリントをまとめる(30分)
3	まとめ 人体の名称・内臓・骨他	教科書の解剖図と配布プリントを見ておく(30分) テスト問題の間違い箇所をまとめる(30分)
4	からだのしくみ 細胞・脳神経	教科書の範囲箇所を熟読しておく(30分) 授業での内容と配布プリントをまとめる(30分)
5	からだのしくみ 細胞・脳神経	教科書の範囲箇所を熟読しておく(30分) 授業での内容と配布プリントをまとめる(30分)
6	からだのしくみ 感覚系	教科書の範囲箇所を熟読しておく(30分) 授業での内容と配布プリントをまとめる(30分)
7	からだのしくみ 呼吸器系	教科書の範囲箇所を熟読しておく(30分) 授業での内容と配布プリントをまとめる(30分)
8	からだのしくみ 循環器系	教科書の範囲箇所を熟読しておく(30分) 授業での内容と配布プリントをまとめる(30分)
9	まとめ 脳神経・感覚器 ・呼吸器・循環器	教科書と配布プリントを見ておく(30分) テスト問題の間違い箇所をまとめる(30分)
10	からだのしくみ 消化器系	教科書の範囲箇所を熟読しておく(30分) 授業での内容と配布プリントをまとめる(30分)
11	からだのしくみ 泌尿器系・生殖器系	教科書の範囲箇所を熟読しておく(30分) 授業での内容と配布プリントをまとめる(30分)
12	まとめ 消化器系 泌尿器系・生殖器系	教科書と配布プリントを見ておく(30分) テスト問題の間違い箇所をまとめる(30分)
13	からだのしくみ 内分泌系 薬の作用	教科書の範囲箇所を熟読しておく(30分) 授業での内容と配布プリントをまとめる(30分)
14	からだのしくみ 血液・体液・リンパ液	教科書の範囲箇所を熟読しておく(30分) 授業での内容と配布プリントをまとめる(30分)
15	前期総括 全体のまとめ	教科書・配布プリントを熟読しておく(30分) まとめの内容をまとめる(30分)

《専門科目》

科目名	介護の基本				
担当者氏名	川井 小百合				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

介護を必要とする人の生活を支えるために、基本となる知識を学び、理解を深めます。

《教科書》

必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義内容についてのレポート・まとめのミニテストは、確認後に返却し、必要に応じて授業時に解説する。

《授業の到達目標》

介護福祉士を取り巻く状況・背景・介護福祉士の社会的役割を理解し、具体的に述べるができる。

介護サービスの概要を理解することができる。

高齢者が生活してきた時代の暮らし・文化を調べて、具体的に述べるができる。

《成績評価基準》

講義内容についてのレポート・まとめのミニテストにより評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%

レポート 10%

授業の取組 10%

《参考図書》

「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」
中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	介護福祉の基本となる理念	予習：なぜ介護福祉士が必要とされているのかを考えてみる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
2	介護福祉を取り巻く状況・背景	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
3	介護福祉士の役割と機能	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
4	介護福祉士の倫理・介護福祉士の定義	予習：介護福祉士の定義について調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
5	"	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
6	1～5までのまとめ	予習：1～5までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
7	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ	予習：介護を必要とする人の生活を支えるしくみを考えてみる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
8	介護サービスの概要	予習：介護サービスの概要について調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
9	"	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
10	"	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
11	7～10までのまとめ	予習：7～10までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
12	介護を必要とする人の理解	予習：介護を必要とする人の理解を考えてみる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
13	"	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
14	"	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
15	総括	予習：すべての講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)

《専門科目》

科目名	介護の基本				
担当者氏名	一山 幸子				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】 「尊厳を支える介護」「自立に向けた介護」：教科書、配布プリント、DVD 視聴等により自立支援の基本的知識を学ぶ。「介護を必要とする人の理解」：聴覚障害当事者の方、障害者施設職員より話を聞きニーズの実際を学ぶ。「介護従事者の倫理」：特別養護老人ホーム主任生活相談員より話を聞き職業倫理・虐待を学ぶ。社会福祉士・介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。

《授業の到達目標》

「尊厳を支える介護」について、ADL と QOL、ノーマライゼーション、利用者主体の考え方を説明することができる。「自立に向けた介護」について、自立支援、ICF、リハビリテーションの考え方を説明することができる。「介護を必要とする人の理解」について、障害のある人の暮らしや生活環境を説明することができる。「介護従事者の倫理」について、職業倫理及び虐待の考え方を説明できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 20%
 課題 % 実技 %
 授業の取組 10%
 その他（復習テスト）10%

《教科書》

最新 介護福祉士養成講座14「障害の理解」
 介護福祉士養成講座編集委員会 編集 中央法規
 見て覚える介護福祉士国試ナビ2022 中央法規

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業中の重要語句記入プリントや DVD 視聴やレポート課題、復習テストなどは、授業中に答え合わせをしたり、提出してもらったものは添削をして返却します。

《成績評価基準》

「尊厳を支える介護」：ADL と QOL (医学モデル、生活モデル) 等利用者主体の考え方を説明できる。「自立に向けた介護」：自立支援、ICF、リハビリテーションの考え方を説明できる。「介護を必要とする人の理解」：障害のある人の暮らしや生活環境、ニーズを説明できる。「介護従事者の倫理」：職業倫理及び虐待の考え方、法制度の内容を説明できる。

《参考図書》

社会福祉学習双書「障害者福祉論」
 社会福祉学習双書編集委員会 編集全国社会福祉協議会
 介護福祉士養成講座 介護の基本 中央法規

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	尊厳を支える介護：医学モデルと社会モデル	予習：教科書 P2～P4を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P2～P4をノートにまとめる(2時間)
2	尊厳を支える介護：ICIDHから ICF へ	予習：教科書 P5～P7を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P5～P7をノートにまとめる(2時間)
3	尊厳を支える介護：障害者の概数、障害者の定義	予習：教科書 P7～P12を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P7～P12をノートにまとめる(2時間)
4	尊厳を支える介護：ノーマライゼーション	予習：教科書 P13～P17を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P13～P17をノートにまとめる(2時間)
5	尊厳を支える介護：インクルージョン	予習：教科書 P17～P19を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P17～P19をノートにまとめる(2時間)
6	尊厳を支える介護：ストレングス、国際障害者年	予習：教科書 P19～P21を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P19～P21をノートにまとめる(2時間)
7	尊厳を支える介護：権利条約、アドボカシー	予習：教科書 P22～P25を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P22～P25をノートにまとめる(2時間)
8	介護を必要とする人の理解：知的障害支援の実際	予習：教科書 P160～P171を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P160～P171をノートにまとめる(2時間)
9	介護を必要とする人の理解：聴覚障害と手話	予習：教科書 P74～P84を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P74～P84をノートにまとめる(2時間)
10	自立に向けた介護：障害者総合支援法	予習：教科書 P27～P30を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P27～P30をノートにまとめる(2時間)
11	自立に向けた介護：障害者差別解消法	予習：教科書 P30～P32を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P30～P32をノートにまとめる(2時間)
12	自立に向けた介護：障害者の就労支援	予習：教科書 P34～P35を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P34～P35をノートにまとめる(2時間)
13	介護従事者の倫理：成年後見、相談支援専門員	予習：教科書 P36～P40を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P36～P40をノートにまとめる(2時間)
14	介護従事者の倫理：障害者及び高齢者虐待防止法	予習：教科書 P32～P34を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P32～P34をノートにまとめる(2時間)
15	まとめ	予習：教科書 P2～P44を読み大事な所を確認する(2時間) 復習：教科書 P2～P44を総復習する(2時間)

《専門科目》

科目名	コミュニケーション技術A				
担当者氏名	中野 幹子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

コミュニケーションの基本技術を学び、だれとでも話ができる方法を学ぶ。この授業では障害のある対象者を招き、障がいを持つ方とのコミュニケーション方法を学べる授業を行う。

《教科書》

パワーポイント資料を配布します。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポート提出や発表、期末試験によってフィードバックします。

《授業の到達目標》

- 1.相手のことを知り、気持ちを推察できる。
- 2.相手が話しやすい態度をとることができる。
- 3.相手との話を広げることができる。
- 4.自分の傾向を知り、苦手な相手ともコミュニケーションをとることができる。
- 5.介護の対象者やその家族、施設職員、多職種の理解

《成績評価基準》

レポート提出、演習試験、筆記試験で評価します。

《成績評価の方法》

筆記試験60% レポ 10%
課題 10% 実技 10%
授業の取組 10%

《参考図書》

ケアコミュニケーション we net

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	今後の授業の予定
2	介護におけるコミュニケーション：敬語の種類	予習：敬語の種類と使い方(1時間) 復習：敬語の種類と使い方(0.5時間)
3	会話の技術：傾聴・受容・共感	予習：傾聴・受容・共感の方法(1時間) 復習：傾聴・受容・共感(0.5時間)
4	会話の技術：傾聴・受容・共感	予習：傾聴・受容・共感の方法(1時間) 復習：傾聴・受容・共感(0.5時間)
5	会話の練習	予習：傾聴・受容・共感を使った話し方(1時間) 復習：会話の技術ポイント(0.5時間)
6	自己覚知について	予習：自己覚知とは(1時間) 復習：自分の特徴理解(0.5時間)
7	視覚障がい者とのコミュニケーションの方法	予習：視覚障がい者の特徴(1時間) 復習：視覚障がい者との話し方のコツ(0.5時間)
8	聴覚障がい者とのコミュニケーションの方法	予習：聴覚障がい者の特徴(1時間) 復習：聴覚障がい者との話し方のコツ(0.5時間)
9	脳性マヒの方とのコミュニケーションの方法	予習：脳性麻痺の理解(1時間) 復習：脳性麻痺の方との話し方のコツ(0.5時間)
10	知的障がい者とのコミュニケーションの方法	予習：知的障がい者の特徴(1時間) 復習：知的障がい者との話し方のコツ(0.5時間)
11	精神障がい者とのコミュニケーションの方法	予習：精神障がい者の特徴(1時間) 復習：精神障がい者との話し方のコツ(0.5時間)
12	高齢者とのコミュニケーションの方法	予習：高齢者の特徴(1時間) 復習：高齢者との話し方のコツ(0.5時間)
13	認知症の方とのコミュニケーションの方法	予習：認知症の方の特徴(1時間) 復習：認知症の方との話し方のコツ(0.5時間)
14	家族や職員とのコミュニケーションの方法	予習：家族や職員の気持ちを知る(1時間) 復習：家族や職員との話し方のコツ(0.5時間)
15	14回分のまとめ	予習：14回分の振り返り 復習：まとめを見直す

《専門科目》

科目名	生活支援技術（移動A）				
担当者氏名	古賀 啓之、田邊 伸一				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。 1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

移動・移乗に関する基本的な知識と技術を学び、根拠に基づいた介護を行う視点を養う。

自立支援に基づく残存機能や福祉用具を活用した介護を学ぶ。利用者・介助者、双方の負担に配慮した技術を身につける。

この授業は介護福祉士として実践経験のある教員が担当する。

《授業の到達目標》

移動・移乗についての意義・目的を理解し、説明することができる。

利用者の能力を活用・発揮し、自立を支援するための生活支援技術が行える。実践の根拠について説明できる。

福祉用具の使用方法を習得し、活用することができる。

腰痛予防・ボディメカニクス等、安全と健康管理について理解し、介助時に活用できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %

課題 % 実技 80 %

授業の取組 20 %

その他 () %

《教科書》

必要に応じてプリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

質問・相談がある場合、授業後適宜対応する。

試験後、講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

実技試験による評価

《参考図書》

最新介護福祉士養成講座6 第2版

「生活支援技術」 中法現出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自立に向けた移動の介助(オリエンテーション)	予習内容 シラバスの確認 30分 復習内容 オリエンテーションの内容の振り返り 30分
2	自立に向けた移動の介助(ボディメカニクス)	予習内容 ボディメカニクスについて調べる 30分 復習内容 ボディメカニクスについてまとめる 30分
3	自立に向けた移動の介助(立ち上がりと歩行)	予習内容 動作において重心がどのように移動するか考える 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
4	自立に向けた移動の介助(杖歩行と階段昇降)	予習内容 杖と歩行器について調べる 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
5	自立に向けた移動の介助(車椅子の基本)	予習内容 車椅子の種類と機能について調べる 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
6	自立に向けた移動の介助(車椅子の操作)	予習内容 車椅子の操作方法について調べる 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
7	自立に向けた移動の介助(体位変換)	予習内容 どのような体位があるか調べる 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
8	自立に向けた移動の介助(ベッド上の移動)	予習内容 ボディメカニクスについて復習する 30分 復習内容 授業内容の振り返りを行い、まとめる 30分
9	自立に向けた移動の介助(起床と臥床)	予習内容 自分の起床時・臥床時の動きについて考える 30分 復習内容 授業内容の振り返りを行い、まとめる 30分
10	自立に向けた移動の介助(起床と臥床)	予習内容 残存機能を活かした起床・臥床について考える 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
11	自立に向けた移動の介助(移乗介助)	予習内容 移乗時の手順について調べる 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
12	自立に向けた移動の介助(移乗介助)	予習内容 移乗介助を振り返り、介助方法の根拠をまとめる 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
13	自立に向けた移動の介助(まとめ)	予習内容 介護技術を振り返り、苦手な部分をまとめておく 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
14	振り返り・まとめ	予習内容 演習において苦手な部分を確認し、改善する 30分 復習内容 演習のポイントや留意点をまとめる 30分
15	振り返り・まとめ	予習内容 演習において苦手な部分を確認し、改善する 30分 復習内容 授業全体を振り返り、まとめる 30分

《専門科目》

科目名	生活支援技術（環境）				
担当者氏名	古賀 啓之、折居 明日香				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。 1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。 1-DP5 専門的知識と実践力を統合した力が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

安全で快適な生活を送るための環境について学び、在宅や施設の多様な生活環境について基本的な知識を学習する。健康を保持するための休息や睡眠の重要性を理解し、安眠を促す環境を整える支援を学ぶ。

この授業は介護福祉士として実践経験のある教員が担当する。

《教科書》

必要に応じてプリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

質問・相談がある場合、授業後適宜対応する。試験後、講評や解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

住まいの多様性や安全で快適に生活できる住環境について、基礎的な知識を用い、具体的に述べるができる。

利用者主体の生活を実現できる居住環境について、説明することができる。

基本的なベッドメイキングとシーツ交換ができ、就寝環境を整えることができる。

《成績評価基準》

講義中の問いかけに対する回答と、レポートによる評価
実技試験による評価

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 10%

課題 % 実技 70%

授業の取組 20%

その他 () %

《参考図書》

最新介護福祉士養成講座7 第2版
「生活支援技術」 中法現出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明・物品確認)	予習内容 シラバスの確認 30分 復習内容 オリエンテーションの内容の振り返り 30分
2	自立に向けた居住環境の整備(環境とは)	予習内容 自分の住んでいる環境について考える 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
3	自立に向けた居住環境の整備(意義と目的)	予習内容 なぜ環境を整える必要があるか調べる 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
4	自立に向けた居住環境の整備(快適な就寝環境)	予習内容 高齢者の居住環境について調べる 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
5	自立に向けた居住環境の整備(ベッドメイキング)	予習内容 ベッドメイキングとは何か調べる 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
6	自立に向けた居住環境の整備(ベッドメイキング)	予習内容 ベッドメイキングの手順を確認する 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
7	自立に向けた居住環境の整備(ベッドメイキング)	予習内容 ベッドメイキングの手順を確認する 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
8	休息・睡眠の介護(就寝環境について)	予習内容 自分の睡眠状態についてまとめる 30分 復習内容 授業内容の振り返りを行い、まとめる 30分
9	休息・睡眠の介護(睡眠の重要性)	予習内容 高齢者の睡眠の傾向について調べる 30分 復習内容 授業内容の振り返りを行い、まとめる 30分
10	休息・睡眠の介護(シーツ交換)	予習内容 シーツ交換の留意点について調べる 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
11	休息・睡眠の介護(シーツ交換)	予習内容 シーツ交換の手順を確認する 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
12	休息・睡眠の介護(シーツ交換)	予習内容 シーツ交換の手順を確認する 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
13	休息・睡眠の介護(シーツ交換)	予習内容 シーツ交換の手順を確認する 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
14	振り返り・まとめ	予習内容 演習において苦手な部分を確認し、改善する 30分 復習内容 演習のポイントや留意点をまとめる 30分
15	振り返り・まとめ	予習内容 演習において苦手な部分を確認し、改善する 30分 復習内容 授業全体を振り返り、まとめる 30分

《専門科目》

科目名	実習指導 A				
担当者氏名	田邊 伸一、川井 小百合、古賀 啓之				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》

・介護実習について講義「介護実習要綱」で学び、施設見学の事前学習・事後学習で実習の流れを理解し、必要書類の作成演習を行う。
 ・この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が現場で培った経験と根拠に基づき講義を行う。

《教科書》

本学科作成の「介護実習要綱」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

質問・相談がある場合は、授業終了後直接質問にすること。その時の内容で即答や次回持越し、別日での対応など決める。

《授業の到達目標》

・介護実習に必要な「介護実習計画書」、「総括」等の作成をすることができる。
 ・総合演習 Aの施設見学事前・事後の準備をととして地域の福祉施設の機能や役割、職員の仕事内容を理解し、「施設の概要」を記述することができる。
 ・介護職として相応しい身だしなみを理解し、施設見学で身なりを整え学生らしい立ち振る舞いができる。

《成績評価基準》

・介護実習に必要な「介護実習計画書」、「総括」等の作成をすることができたか。
 ・総合演習 Aの施設見学事前・事後の準備をととして地域の福祉施設の機能や役割、職員の仕事内容を理解し、「施設の概要」を記述することができたか。
 ・介護職として相応しい身だしなみを理解し、施設見学で身なりを整え学生らしい立ち振る舞いできたか。

《成績評価の方法》

レポート 40%
 課題 30%
 授業の取り組み 30%

《参考図書》

適宜、紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実習指導・介護実習の意義と目的	予習：介護実習とはなにか考えてみる(30分) 復習：実習に行く意義をノートにまとめる(30分)
2	実習の流れと関連書類・施設見学の目的	予習：実習要綱を読んでおく(30分) 復習：実習要綱の理解できていない部分を確認する(30分)
3	「実習計画書」：記述方法の説明・下書き	予習：実習の目標を考えておく(30分) 復習：実習計画書の内容を確認しておく(30分)
4	「実習計画書」：記述方法の確認・清書	予習：目標を達成するために必要なことを考えてみる(30分) 復習：計画書に間違いがないか確認しておく(30分)
5	「総括」：記述方法の説明・下書き	予習：総括について調べておく(30分) 復習：総括についてわからない部分を確認しておく(30分)
6	「施設概要」：記述方法の説明・下書き	予習：施設概要について調べておく(30分) 復習：施設概要についてわからない部分を確認しておく(30分)
7	施設見学心構え・服装チェック	予習：施設見学に必要な資料・準備をしておく(30分) 復習：施設見学に必要な筆記用具等を確認しておく(30分)
8	施設見学事後指導1 「お礼状」作成	予習：お礼状の例文を考えてみる(30分) 復習：お礼状の記述方法をまとめておく(30分)
9	施設見学事後指導2 「施設概要」個別作成	予習：施設概要の概要を考えてみる(30分) 復習：施設概要の仕上げ、確認をしておく。(30分)
10	施設見学事後指導3 「総括」個別作成	予習：総括の概要を考えてみる(30分) 復習：総括の仕上げ、確認をしておく。(30分)
11	「施設概要・総括」グループ作成	予習：施設概要・総括の資料をまとめておく(30分) 復習：施設概要・総括の仕上げ、確認をしておく。(30分)
12	「施設概要・総括」グループ発表1	予習：発表資料の確認をする(30分) 復習：発表した際の評価・考察・改善点を行う。(30分)
13	「施設概要・総括」グループ発表2	予習：発表資料の確認をする。(30分) 復習：発表した際の評価・考察・改善点を行う。(30分)
14	「実習日誌」：記述方法の説明・下書き	予習：実習日誌について調べてみる(30分) 復習：実習日誌の記述方法の確認をしておく(30分)
15	「実習日誌」：清書	予習：実習日誌を記述する際の注意点を確認しておく(30分) 復習：実習日誌の仕上げ、確認をしておく。

《専門科目》

科目名	介護実習				
担当者氏名	中野 幹子、一山 幸子、川井 小百合、折居 明日香、田邊 伸一、山本 恭大、古賀 啓之				
授業方法	実習	単位・必選	10単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

- ・地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的能力を習得する。
- ・本人の望む生活の実現に向けて、他職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。

《教科書》

本学作成の「介護実習要綱」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実習課題については、実習巡回担当教員ごとに個別指導を実施する。

《授業の到達目標》

- ・実習施設の概要を学ぶことができる。
- ・利用者を尊重したコミュニケーションや基本的な生活支援技術を見学することができる。
- ・利用者の情報を収集することができる。
- ・利用者の生活と地域との関わりや地域での生活を支える施設事業所の役割を理解することができる。
- ・記録物の基本的な書き方が理解できる。

《成績評価基準》

本学作成の実習評価表を用いて、実習指導者と巡回担当教員により評価を行う。

《成績評価の方法》

実習の取り組み、実習課題（提出・発表）を総合的に評価する。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
2	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
3	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
4	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
5	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
6	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
7	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
8	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
9	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
10	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
11	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
12	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
13	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
14	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
15	実習() - 1 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。

《専門科目》

科目名	コンピュータ演習				
担当者氏名	山本 恭大、古賀 啓之				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》

【介護福祉士選択】

介護の現場でも、情報処理能力は必須の技術となっている。現場での記録や情報伝達のために MicrosoftWord、PowerPoint、Excelを使用する場面は多い。本授業では、Microsoft Word、PowerPoint、Excelの基本的な操作の習得を目指す。

必要に応じてGoogleドキュメント・スプレッドシート・スライド・フォームを使用する。

《授業の到達目標》

Microsoft Word で書類の作成ができるようになる。

Microsoft Excel でプレゼンテーション用のデータ集計ができるようになる。

Microsoft PowerPoint でプレゼンテーション用の資料が作れるようになる。

必要に応じてGoogleドキュメント・スプレッドシート・スライド・フォームでも同等の技術習得を目指す。

《成績評価の方法》

課題 80%

授業の取組 20%

《教科書》

必要時にプリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ミニテストの結果は、原則として次の授業で講評を述べる。

15限目の課題は成績の発表をもってフィードバックとする。

《成績評価基準》

授業の取り組み： 各单元ごとに、授業内課題を提出させ「授業の取り組み」として評価する。

課題： 15時間目に授業内課題を提出させ評価する。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	PCルームの使い方/メール設定	予習：自身のスマートフォンのメール設定を確認する。(30分) 復習：配布されたGmailの送受信が可能であることを確認する。(30分)
2	Google Classroomの使い方	予習：1回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。
3	Microsoft Word	予習：2回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。
4	Microsoft Word	予習：3回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。
5	Microsoft Word	予習：4回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。
6	Microsoft Word	予習：5回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。
7	Microsoft Word	予習：6回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。
8	Microsoft Excel	予習：7回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。
9	Microsoft Excel	予習：8回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。
10	Microsoft Excel	予習：9回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。
11	Microsoft PowerPoint	予習：10回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。
12	Microsoft PowerPoint	予習：11回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。
13	Microsoft PowerPoint	予習：12回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。
14	Microsoft PowerPoint	予習：13回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。
15	まとめ(課題作成)	予習：14回目の授業で伝達する。(30分) 復習：15回で学んだ内容をまとめる。

《専門科目》

科目名	介護の基礎				
担当者氏名	永吉 美知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

介護福祉士として必要な専門的な知識や理論をみにつけるために 授業中はもちろん自宅学習を徹底をおこなう基礎として必要な語彙の読み 意味の理解確認を中心に行う

《教科書》

自作プリント

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験後の間違いが多かった問題を中心にフィードバック

《授業の到達目標》

介護に必要な語彙が読めるようになる
語彙の意味が理解できるようになる
介護事例集を読んで 内容を理解し記述できるようになる
国家試験問題が解けるようになる

《成績評価基準》

学期末テスト
授業の取り組む
小テスト

《成績評価の方法》

筆記試験70% レポート %
課題 20% 実技 %
授業の取組 10%
その他 () %

《参考図書》

介護福祉士養成講座 11 こころとからだのしくみ
介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 睡眠	復習 睡眠の仕組み(2時間)
2	体のしくみ 感覚器 小テスト	予習 脳神経 (2時間) 復習 感覚器 (2時間)
3	体のしくみ 内臓 小テスト	予習 呼吸器 (2時間) 復習 内臓 (2時間)
4	体のしくみ 呼吸器	予習 循環器 (2時間) 復習 内臓 (2時間)
5	体のしくみ 循環器	予習 消化器 (2時間) 復習 呼吸器 (2時間)
6	体のしくみ 消化器	予習 骨と関節 (2時間) 復習 循環器 (2時間)
7	体のしくみ 骨と関節	復習 1～7までの復習 (4時間)
8	小テスト FB	予習 食事(2時間)
9	食事に関連した体のしくみ	予習 高齢者に多い病気(2時間) 復習 (食事と嚥下)
10	高齢者に多い病気	予習 認知症 (2時間) 復習 高齢者に多い病気 (2時間)
11	認知症	予習 認知症 (2時間) 復習 認知症 (2時間)
12	認知症	予習 死の理解 (2時間) 復習 認知症 (2時間)
13	死の理解	復習 死の理解 (2時間) 今までの復習(2時間)
14	復習問題と試験対策	今まで学習した教材を復習・確認 (4時間)
15	期末試験とFB	復習 試験の見直し

《専門科目》

科目名	検定読解				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

日本語能力試験N2レベルを目標とした読解力を上げるための練習をします。目標はN2合格ですが、その練習を通して日本での生活に必要な文章を読む力を身につけます。授業は課題の開設を中心に行います。必ず課題を解いて全授業に出席してください。読解力向上のポイントは自宅学習です。自己管理能力を身につけましょう。

《授業の到達目標》

- ・学校や生活で必要な説明文や指示文を読んで内容を理解することができる。
- ・かんたんな内容の評論やエッセイを読んで、因果関係や筆者の考え方が理解できる。
- ・かんたんな内容の複数のテキストを読み比べて、共通点や相違点を述べるができる。
- ・文章から必要な情報を探し出すことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %
 課題 30% 実技 %
 授業の取組 20%
 その他 () %

《教科書》

日本語能力試験問題集N2読解スピードマスター
 (Jリサーチ出版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題の解説は次回の授業内で行う。
 理解度確かめるために、小テストを実施し添削して返却する。

《成績評価基準》

- ・毎回課題にしっかり取り組んで授業にのぞんでいたか。
 - ・授業で学んだ語彙や文法とまとめノートを作るなど自宅学習が十分になされていたか。
 - ・文章を理解するためのストラテジーを身につけることができたか。
- 以上の取り組み方と模試・期末試験で総合的に評価する。

《参考図書》

日本語能力試験N2関連問題集を適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実力テスト 身の回りの文書	予習：授業内容の確認 30分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
2	通知文・お知らせ	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
3	意見文	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
4	説明文	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
5	エッセイ	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
6	小説	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
7	新聞	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
8	グラフと図表	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
9	論説文	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
10	統合問題	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
11	模擬試験	予習：模擬試験準備 60分 復習：模擬試験の見直し 60分
12	模擬試験の解説 情報検索	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
13	過去問題	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
14	過去問題	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
15	期末試験 まとめ	予習：期末試験準備 60分 復習：まとめ

《専門科目》

科目名	検定文法				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

- 1.N2レベルの文法を理解し、くり返し使い方を練習する。
- 2.N2レベルの文法を使って、文章を書く練習をする。

《教科書》

『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・テキストの各ユニット終了後、小テストを行い、翌週フィードバックを行う。
- ・毎週、宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《授業の到達目標》

- 1.日本語能力試験N2合格に向け、文法力の向上を目指す。
- 2.テキストで学んだ文法をよく理解し、日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。
- 3.テキストで学んだN2文法を使用し、文章が書ける。

《成績評価基準》

- ・N2文法をよく理解し、文法力が向上できたか。
- ・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるようになったか。
- ・N2文法を使用し、文章が書けるようになったか。

《成績評価の方法》

- ・期末試験50%
- ・小テスト・課題30%
- ・授業への取り組み20%

《参考図書》

パワードリル文法N2

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 N2文法 導入・練習	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：第1回授業内容の復習(30分)
2	N2文法 導入・練習	予習：第2回授業内容の予習(30分) 復習：第2回授業内容の復習(30分)
3	小テスト N2文法 導入・練習	予習：第3回授業内容の予習(30分) 復習：第3回授業内容の復習(30分)
4	N2文法 導入・練習	予習：第4回授業内容の予習(30分) 復習：第4回授業内容の復習(30分)
5	N2文法 導入・練習	予習：第5回授業内容の予習(30分) 復習：第5回授業内容の復習(30分)
6	小テスト N2文法 導入・練習	予習：第6回授業内容の予習(30分) 復習：第6回授業内容の復習(30分)
7	N2文法 導入・練習	予習：第7回授業内容の予習(30分) 復習：第7回授業内容の復習(30分)
8	N2文法 導入・練習	予習：第8回授業内容の予習(30分) 復習：第8回授業内容の復習(30分)
9	小テスト N2文法 導入・練習	予習：第9回授業内容の予習(30分) 復習：第9回授業内容の復習(30分)
10	N2文法 導入・練習	予習：第10回授業内容の予習(30分) 復習：第10回授業内容の復習(30分)
11	N2文法 導入・練習	予習：第11回授業内容の予習(30分) 復習：第11回授業内容の復習(30分)
12	小テスト N2文法 導入・練習	予習：第12回授業内容の予習(30分) 復習：第12回授業内容の復習(30分)
13	N2文法 導入・練習	予習：第13回授業内容の予習(30分) 復習：第13回授業内容の復習(30分)
14	N2文法 導入・練習	予習：第14回授業内容の予習(30分) 復習：第14回授業内容の復習(30分)
15	総復習 期末テスト	予習：テスト前の総復習(60分) 復習：テスト後の確認(30分)

《専門科目》

科目名	検定文字語彙				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

N3からN2レベルの教科書に沿って授業を進めます。3000～6000語を習得するためには自宅学習が必須です。予習・復習に時間をかけ、授業では語彙の運用と確認と応用小テストの繰り返しで力をつけていきましょう。語彙力は日本語力向上の第一歩です。

《教科書》

新完全マスター語彙 日本語能力試験N2
(スリーエーネットワーク)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テスト、模擬試験は翌週にフィードバックします。

《授業の到達目標》

- ・日本語能力試験N3～N2レベルの漢字を読むことができる。
- ・N3～N2レベルの語彙の意味を調べ、短い文の中で使うことができる。
- ・名詞・基本動詞などは、自分で調べ、不明な点を教師に質問できる。
- ・日本語能力試験合格を目指し、自主的に取り組むことができる。

《成績評価基準》

- ・日本語能力試験N3～2レベルの漢字が読めるか。
- ・N3～2レベルの語彙の意味を調べ、短い文の中で使えるか。
- ・名詞・基本動詞は自分で調べ、不明な点を教師に質問できるか。
- ・日本語能力試験合格を目指し自主的に取り組めるか。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート %
課題 30% 実技 %
授業の取組 30%
その他(模試) 10%

《参考図書》

日本語能力試験関連問題集

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション、実力テスト	予習:実力テスト準備 1時間 復習:実力テスト復習 30分
2	実力テスト FB、語彙(社会1)	予習:語彙(社会1) 30分 復習:語彙(社会1) 30分
3	語彙(社会2)・短文作成	予習:語彙(社会2) 30分 復習:語彙(社会2) 30分
4	小テスト、語彙(社会3)・短文作成	予習:語彙(社会3) 30分 復習:語彙(社会3) 30分
5	語彙(自然)・短文作成	予習:語彙(自然) 30分 復習:語彙(自然) 30分
6	小テスト、語彙(和語動詞)、短文作成	予習:語彙(和語動詞) 30分 復習:語彙(和語動詞) 30分
7	語彙(漢語動詞)、短文作成	予習:語彙(漢語動詞) 30分 復習:語彙(漢語動詞) 30分
8	日本語能力試験模擬試験	予習:模試準備 1時間 復習:模試復習 1時間
9	小テスト、語彙(形容詞)、短文作成	予習:語彙(形容詞) 30分 復習:語彙(形容詞) 30分
10	語彙(副詞)、短文作成	予習:語彙(副詞) 30分 復習:語彙(副詞) 30分
11	小テスト、語彙(オノマトベ)、短文作成	予習:語彙(オノマトベ) 30分 復習:語彙(オノマトベ) 30分
12	語彙(漢語)、短文作成	予習:語彙(漢語) 30分 復習:語彙(漢語) 30分
13	小テスト、語彙(言い換え類義)短文作成	予習:語彙(言い換え類義) 30分 復習:語彙(言い換え類義) 30分
14	語彙(語形成)、短文作成	予習:語彙(語形成) 30分 復習:語彙(語形成) 30分
15	期末試験、まとめ	予習:期末準備 2時間

《専門科目》

科目名	アジア文化交流史				
担当者氏名	永吉 美知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

日本との長い文化交流を時系列に紹介する
理解を深めるために 様々な資料やパワーポイントなどを用いる

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テストと課題レポートの提出

《授業の到達目標》

文化交流がもたらされた歴史の必然性を理解する
過去の歴史が現代に影響し 未来を形づくることを意識化させる

《成績評価基準》

授業中の態度 小テスト 評価テスト

《成績評価の方法》

筆記試験70 % レポート %
課題 % 実技 %
授業の取組30 %
その他 () %

《参考図書》

なし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)	
1	オリエンテーション 農業革命	復習	縄文と弥生時代(2時間)
2	古墳時代	予習 復習	奈良へのながれ(2時間) 弥生までの流れ(2時間)
3	飛鳥から奈良時代 遣隋使 遣唐使	予習 復習	平安時代(2時間) 中国との往来がかえたもの(2時間)
4	奈良時代 仏教文化	予習 復習	平安時代(2時間) 奈良時代を終わらせたもの(2時間)
5	平安時代 国風文化	予習 復習	鎌倉時代(2時間) 平安時代の貴族の政治(2時間)
6	鎌倉時代 武士と元寇	予習 復習	室町時代(2時間) 武士が変えた社会 元寇の影響
7	室町時代 文化	予習 復習	安土桃山(2時間) 室町文化(2時間)
8	安土桃山 鉄砲伝来	予習 復習	江戸時代(2時間) なぜ鉄砲は日本へきたかの(2時間)
9	江戸時代 鎖国と江戸文化	予習 復習	明治(2時間) なぜ鎖国をしたのか(2時間)
10	江戸時代 明治維新 黒船が日本へ	予習 復習	大正時代(2時間) なぜ黒船は日本へ(2時間)
11	明治時代 大正時代 条約改正 世界大戦	予習 復習	昭和時代(2時間) 大正時代(2時間)
12	昭和時代 敗戦まで	予習 復習	敗戦後の日本(2時間) 原爆投下までの道(2時間)
13	敗戦から現代まで	復習	全体の流れを把握する(4時間)
14	評価テスト対策	復習	対策テストの理解 (4時間)
15	評価テスト	自宅で復習	

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーション				
担当者氏名	井上 しづ恵、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力					

《授業の概要》

社会に出る前に常識として知っておかなければならない時事用語やビジネス用語がある。先ずそういった常識を学び、知識を得た上で、新聞記事やビジネス文書を読めるようにする。更に、表やグラフなどを分析し、問題をあぶり出し、問題解決につながる糸口を提起できる力を身に付ける。

《教科書》

ビジネス能力検定ジョブパス

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回演習問題を解き、授業内で解説する

《授業の到達目標》

- ・インターシップ前におさえておきたいビジネス知識やビジネスマナーを理解することができる。
- ・仕事に役立つ論理力を養うことができる。
- ・時事用語やビジネス用語を理解することができる。
- ・表やグラフを見て、問題発見や分析ができる。
- ・ビジネス能力検定3級に合格するする実力を身に付けることができる

《成績評価基準》

授業での演習を通して、ビジネス能力検定3級レベルの知識、思考力、分析力を身につけることができたかを評価する

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 60%
 その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	キャリアと仕事へのアプローチ	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
2	仕事の基本となる8つの意識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
4	指示の受け方と報告、連絡・相談	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
5	話し方と聞き方のポイント	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
6	来客応対と訪問の基本マナー	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
7	会社関係でのつき合い	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
8	仕事への取り組み方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
9	ビジネス文書の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
10	電話応対	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
11	統計・データの読み方・まとめ方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
12	情報収集とメディアの活用	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
13	会社を取り巻く環境と経済の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
14	ビジネス用語の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
15	知識・読解・分析などの総括	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する

《専門科目》

科目名	ビジネスライティング				
担当者氏名	志田 華奈子、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

自らの意見や立場を言葉で明確に表明することは社会人として必要なスキルである。日本語は書き言葉や話し言葉、場面などで、さまざまな使い分けが必要な言語である一方、新しい表現を生み出しやすい言葉でもある。この授業では、さまざまな資料から多くの日本語表現に触れつつ、自らも文章を書き、他者への伝わり方を議論することで、コミュニケーションの道具としてのことばを活用できるスキルを磨く。

《授業の到達目標》

- ・社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に応じた日本語表現を使用することができる。
- ・自らの意見や表現したいことを、他者がわかりやすいように言葉に表すことができる。
- ・語彙力や表現力を伸ばすために、普段から身の回りにおけることばの表現に関心を持ち、調べ、それらを使用できようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 40%
課題 30%
授業の取組 30%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却する

《成績評価基準》

- ・社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に応じた日本語表現を使用することができたか。
- ・自らの意見や表現したいことを、他者がわかりやすいように言葉に表すことができたか。
- ・語彙力や表現力を伸ばすために、身の回りのことばの表現に関心を持ち調べ、それらを使用できようになったか。

《参考図書》

『大学生のための日本語表現トレーニング』橋本修(三省堂)
『形容詞を使わない大人の文章表現力』石黒圭(日本実業出版社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
2	話し言葉と書き言葉	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
3	描写 (見たものを描写する)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
4	描写 (絵や動画を描写する)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
5	形容詞問題	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
6	外面と感覚の表現	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
7	伝え方のコツ (依頼)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
8	伝え方のコツ (効果的な表現)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
9	SDS法・文章のコツ	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
10	敬語表現	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
11	メールの書き方	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
12	ビジネス文書	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
13	自己PR文 (自己分析)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
14	自己PR文 (文作成)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
15	期末試験 まとめ	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)

《専門科目》

科目名	実践的プログラミング演習				
担当者氏名	柿山 達哉、常岡 直樹				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力					

《授業の概要》

Excelの一般的な利用方法の解説と実習。
 マクロ・VBAの概要の解説と実習。
 マクロを使ってプログラムを作成する。
 作成したプログラムのプレゼンテーションをおこなう。

《教科書》

今すぐ使えるかんたんエクセル2019
 井上香緒里著
 技術評論社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

個人ごとに課題に対する評価レポートを提示し、説明する。

《授業の到達目標》

マイクロソフトExcelの基本的な関数機能を使用することができる。
 簡単なExcelマクロ機能のプログラミングからテストができるようになる。

《成績評価基準》

- ・授業に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・出席率、予習、復習を重視します。

《成績評価の方法》

課題 60%
 授業の取組 40%

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	講座の目標と2年間の講義内容説明	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	パソコン活用術	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	パソコン活用術	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	エクセルの基本操作	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	エクセルの計算式と関数	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	エクセルでよく使う関数の解説と実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	エクセルでよく使う関数の解説と実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	エクセル計算式と関数の実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	エクセル計算式と関数の実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	マクロ・VBAとはVBAで何ができるのか	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	簡単なマクロコーディング・開発画面の使い方	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	簡単なマクロコーディング・VBAの基礎知識	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	簡単なマクロコーディング・VBAの基礎知識	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	簡単なマクロコーディング・実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	簡単なマクロコーディング・実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)